



横浜市立恩田小学校 学校だより 5月号

発行 平成30年 5月1日



あいさつは心と心をつなぐ合言葉

校長 古屋 澄人

緑まばゆい季節になりました。恩田小学校の敷地を見渡してみると多くの生き物や植物を見ることができます。先日は恩田小学校に戻ってきたツバメを見つけました。子どもたちは電線に止まっているツバメの鳴き声に気付き、しばしツバメの鳴き声に聞き入っていました。大事そうに虫かごをもって登校する子どもたちも増えてきました。初夏の訪れと共に、昆虫の幼虫がいよいよ木々に現れます。身近な生き物や植物との触れ合いが楽しい季節になりました。

さて、私の1日は登校する子どもたちとの「おはようございます」というあいさつから始まります。昨年度の学校評価では、子どもたちについて「進んであいさつをしていますか」の項目で、「そう思う」「どちらかというと思う」のポイントが28年度に比べると6ポイント低くなり、「あまり思わない」のポイントが5ポイント高くなりました。この結果を受け止め、4月の朝会では、子どもたちに「あいさつ」がいっぱいの学校にしていきたいと思いますという話をしました。子どもたちには、人と出会った時に「あいさつ」をするということは「相手の人を大事にしていますよ。」というサインでもあるのです。そして、



あ:あかるいあいさつ **い:**いつでも **さ:**さきに **つ:**つづけよう

を合言葉にしてみましようと言いました。

あいさつは円滑な人間関係を築くためにはなくてはならないものです。先日の5年生の道徳では、「心をつなぐ」という主題名のもと「あいさつ」をテーマにした授業を行っていました。恩田小学校の子どもたちが自然なあいさつができるように引き続き指導をしていきます。そのためには、まず、私たち大人が範を示していければと思います。ご家庭でもお声掛けをどうぞよろしくお願いいたします。

4月は、各学年の授業参観・懇談会に多くの保護者の皆様にご参加いただきました。各担任・担当から1年間の学年の目標や行事予定、育てたい子どもの姿などの説明があったと思います。また、PTAの委員の選出にもご協力をいただきましてありがとうございました。お忙しいとは思いますが、PTA活動にもご協力いただき、学校と家庭、そして、地域の皆様と連携を取りながら子どもたちのことを見守っていただければと思います。また、先日、「つながり」「ふるさと」募集のお知らせを配付させていただきました。できる範囲で結構ですので、是非ともボランティアにご登録をいただき本校の教育活動の充実に向けてご協力をいただきますようお願いいたします。